

南城市地域公共交通再編実施計画（素案）

概 要 版

平成 31 年 2 月

南 城 市

第1章 再編の概要

1-1 再編の考え方

本計画は、網形成計画に示した3つの再編の考え方と、これをさらに具体化した再編案検討の考え方にもとづき、検討しました。

再編の考え方1 公共交通網のハブの整備

南城市内には現在、馬天営業所、親慶原出張所、百名バスターミナルと3つのバスターミナルが事業者毎に分散して整備されており、特に、異なる事業者間の乗り継ぎが非常に不便な状況となっています。このため、現在3箇所に分散しているバスターミナルを中核地の1箇所に集約することで、公共交通網のハブとし、乗り継ぎ利便性を高めます。

再編の考え方2 定時・速達性の高い幹線バスの導入

現在、市外に向かう路線バスは、一般道を経由して那覇バスターミナルと結ばれていますが、渋滞により定時性・速達性が損なわれています。2022（平成34）年度前後には、地域高規格道路である南部東道路が供用予定であることから、南部東道路を経由して、中核地に整備するバスターミナルと、那覇市等の市外を結ぶバスを、定時・速達性の高い幹線バスとして整備します。

再編の考え方3 ハブとまちの拠点等を結ぶ支線バスの導入

市外への幹線バスへのアクセスをスムーズにするため、まちの拠点等とハブを結ぶ支線バスを導入し、幹線バスと一体となった公共交通網を形成します。なお、需要が見込めず、支線バスでの対応が難しいエリアについては、これまで通り、デマンドバス「おでかけなんじい」で対応します。

地域公共交通再編案の考え方は、以下に示す6つの考え方になります。また、次ページには再編をイメージしたイメージ図を掲載しています。

網形成計画における再編の考え方

- 再編の考え方 1: 公共交通網のハブの整備
- 再編の考え方 2: 定時・速達性の高い幹線バスの導入
- 再編の考え方 3: ハブとまちの拠点等を結ぶ支線バスの導入



地域公共交通再編案の考え方

考え方①：幹線バス・支線バス・デマンドバスの役割分担の明確化

市外への移動は幹線バス(既存の路線バス)、市内の移動は支線バスが担い、幹線バスは市内での走行距離をできるだけ短くすることで効率化(運行に必要な人員、車両の削減)を図る。デマンドバスは支線バスで対応できないエリアを補完するものであり、市内の移動は基本的に支線バスが担う。

考え方②：幹線バスと支線バスの連携

幹線バスと支線バスを中核地の交通結節点で接続させる。朝は南城市内各地から市外方面へ、夕方は市外から市内各方面にスムーズに乗り継ぎできるようにルート、ダイヤを工夫する。なお、循環型の支線バスについては、利用者の利便性が低下しないようにするため、ルートが長くなりすぎないように留意する。(1時間以内を目処に設定)

考え方③：交通弱者の移動需要への対応

高齢者の通院や買い物、高校生の登下校など公共交通を必要とする交通弱者のニーズにあったバス網を検討する。特に高校生の登下校については、市内に高校がないこともあり、支線バスと市外の高校にアクセスする幹線バスが登下校時に交通結節点で乗り継げるようにダイヤを設定する。また、支線バスについては、商業施設や病院、福祉施設等へのアクセスに留意してルートを検討し、高齢者ができるだけ送迎に頼らなくても移動できる環境を整える。

考え方④：周遊利便性の向上

市内には斎場御嶽や、おきなわワールドなど集客力の高い観光資源が点在しているが、公共交通で観光地相互が結ばれておらず、公共交通での観光が不便な状況になっている。沖縄を訪れる観光客数も年々増加しており、南部東道路の供用により那覇空港へのアクセス利便性も高まることから、観光客の周遊利便性を考慮した支線バス網を検討する。

考え方⑤：運行効率化

スクールバスの間合い運行や、混乗化を行い、運転手、車両を効率的に運用する。また、幹線バスと支線バスは極カルルートが重ならないように留意し、効率化を図る。

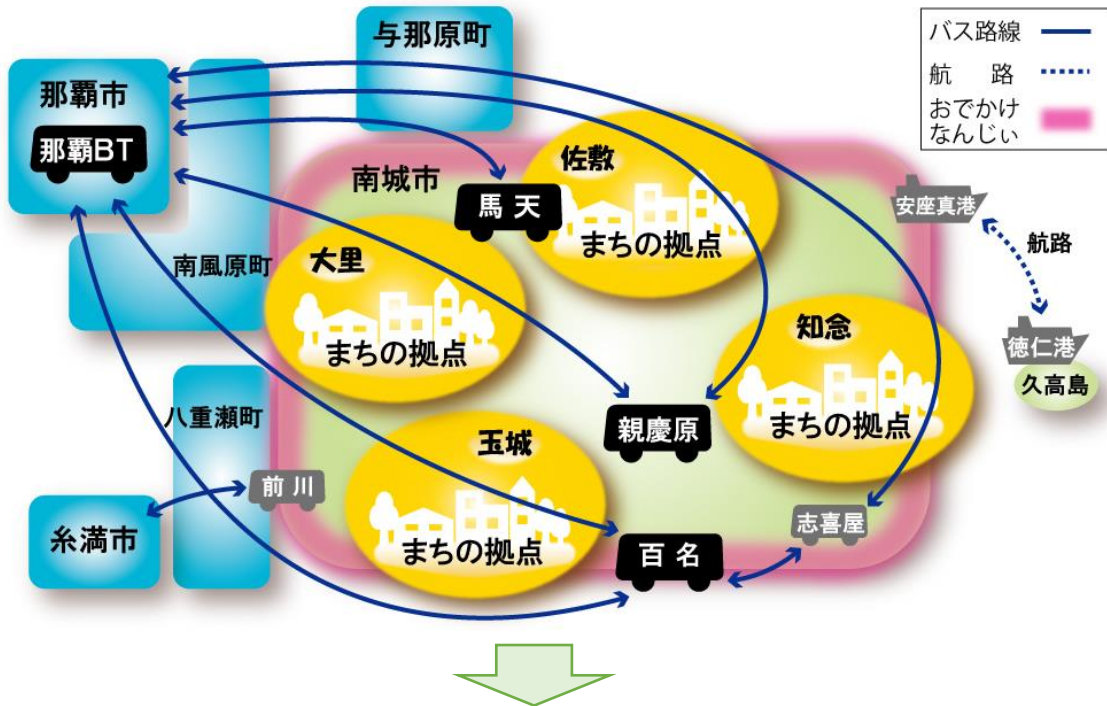
考え方⑥：利用しやすい料金体系の導入

再編による乗り継ぎが生じることから、乗り継ぎによる料金抵抗を低減するため、市内一律運賃や市内1日乗車券等の導入もあわせて検討する。

【公共交通網再編のイメージ】

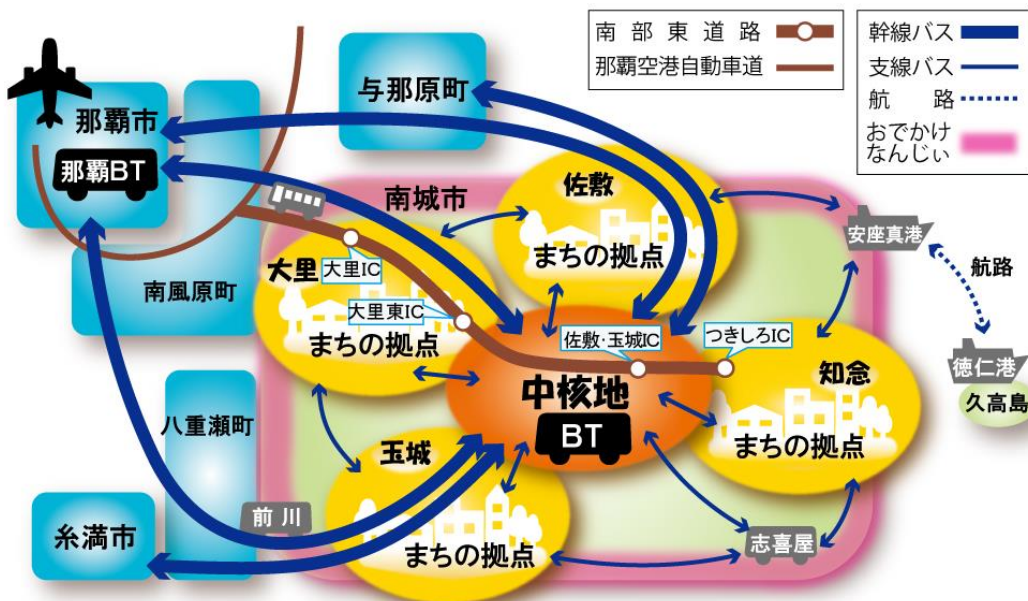
現状

- 3つのバスターミナルから各まちの拠点を経由して那覇方面にアクセス
- バス路線を束ねる交通拠点はなく、まちの拠点間の結びつきは弱い。



将来

- IC周辺の新しい拠点である中核地を核に、公共交通網を形成。
- 中核地と那覇市等の市外を幹線バスで結ぶ。
- 市内でも一定の需要が見込める中核地～まちの拠点間等は支線バスを運行。
- 支線バスでの対応が難しいエリアの移動は「おでかけなんじい」が担う。



1-2 対象地域

本計画の対象地域は、**南城市全域**とします。

1-3 対象期間

計画対象期間は、2019 年度から、網形成計画の最終年度である 2026 年度とします。なお、本計画では 2019 年 10 月からの再編事業について具体的な再編内容を記載しています。その他の再編事業については検討が進んだ段階で、適宜、本計画の見直しを行うことにより反映します。

第2章 再編事業の概要

承認事項

2019 年度 10 月からの再編では、「支線バスの運行」、「幹線バスの運行見直し」、「デマンド交通の見直し」、「運賃体系の見直し」を行います。

表 2-1.再編事業の概要

項目	内容
支線バスの運行	市役所新庁舎を拠点に、市内の各地区を循環する支線バスルートで運行する。朝夕の一部便についてはスクールバス（一般混乗）として運行する。
幹線バスの見直し	市役所新庁舎での支線バスとの乗り継ぎ利便性を高めるため、既存の路線バスの南城市側の起終点を市役所新庁舎に変更する。
デマンド交通の見直し	これまでデマンド交通「おでかけなんじい」が市内の移動を担ってきたが、再編により支線バスが主に市内の移動を担い、「おでかけなんじい」は支線バスで対応できない地区や時間帯の移動を補完する役割となった。「おでかけなんじい」の役割に見直しにあわせ、運行区域や車両の見直しを行う。
運賃体系の見直し	支線バスの導入、幹線バスの運行見直しにより、市内の移動で乗り継ぎが生じるなどの影響を緩和するとともに、支線バスと「おでかけなんじい」の役割に応じた利用を促すため、運賃体系を見直す。

第3章 支線バスの運行

3-1 運行の概要

市内の移動を支えるため、新たに支線バス4コースで運行します。各ルート of の概要は以下の通りです。

表 3-1.支線バス各コースの概要

路線名(仮)	運行台数	運行事業者	ルート	想定している利用形態・立ち寄り先
コースA 知念・佐敷一周線	2台	未定	知念、佐敷地域を回る一周線、久高航路とダイヤ連携 (市役所～馬天～佐敷～安座真～志喜屋～百名～親慶原～市役所)	<ul style="list-style-type: none"> ●登下校(馬天小、佐敷小、佐敷中、知念小、知念中) ●通院(沖縄メディカル病院、つはこクリニック、普天間内科、ふじた眼科) ●買い物(ザ・ビック、丸大、かねひで、Aコープ知念) ●観光(斎場御嶽、あざまサンサンビーチ、知念岬公園、ミントングスク) ●交通結節点(安座真港) ※久高航路とのダイヤの連携
コースB ニライ橋カナイ橋・つきしろ線	1台	未定	コースAを補完、久高航路とダイヤ連携 市役所～親慶原～安座真～佐敷～馬天～市役所	<ul style="list-style-type: none"> ●登下校(馬天小、佐敷小、佐敷中、知念小、知念中) ●コースAの便数を補完する他、ニライ橋カナイ橋、つきしろ地区へのアクセス ●観光(斎場御嶽、あざまサンサンビーチ、知念岬公園) ●交通結節点(安座真港) ※久高航路とのダイヤの連携
コースC 玉城・大里一周線	2台	未定	玉城・大里地区を回る一周線 (市役所～親慶原～糸数～奥武～船越～稲嶺～嶺井～大城～市役所)	<ul style="list-style-type: none"> ●登下校(玉城小、玉城中、大里北小、大里南小、大里中) ●通院(平田内科、みなみ耳鼻咽喉科、大里こどもクリニック、南城眼科、南城歯科) ●買い物(イオン大里、アトール、Aコープ玉城、サンエー嶺井店) ●観光(奥武島、大里城跡、おきなわワールド)
コースD-① 通勤・通学線(玉城東回り)	1台	未定	玉城東地域をまわる通勤・登校のための路線	●登校(百名小、玉城小、玉城中、玉城幼)
コースD-② 通勤・通学線(玉城・向陽高校経由)			玉城地域、向陽高校の下校のための路線	●下校(向陽高校、百名小、玉城小、玉城中)

※各コースとも、市役所前バス停で幹線バスに乗り換えて、市外への通勤・通学にも利用できる。

また、朝夕の登下校時間帯、支線バスは下記のルートで通学ルート線として運行します。なお、通学ルート線は、登下校の児童・生徒のみでなく、一般客も混乗できます。

表 3-2.通学ルート線の概要

路線名(仮)	ルート	登下校先等	備考
つきしろ SB、知念・佐敷一周線(時計)	つきしろ地区、佐敷地区、知念地区をまわるルート (東つきしろ～親慶原～馬天小前～佐敷小学校前～安座真～知念小学校前～志喜屋～新原～つきしろの街入口～市役所)	●馬天小、佐敷小、知念小、百名小、佐敷中、知念中 ●市外の高校(幹線バス乗り継ぎ) ●市外の通勤(幹線バス乗り継ぎ)	大型車両で運行
知念西回り線	つきしろ地区、知念西地区、玉城東地区をまわるルート (市役所～つきしろの街～知念～志喜屋～百名～つきしろの街入口～市役所)	●市外の高校(幹線バス乗り継ぎ) ●市外の通勤(幹線バス乗り継ぎ)	コース B の車両で運行
玉城西回り SB	主に玉城地区を回るルート (市役所～喜良原～系数～前川～湧稲国～船越～系数～市役所)	●船越小、玉城小、玉城中 ●市外の高校(幹線バス乗り継ぎ) ●市外の通勤(幹線バス乗り継ぎ)	コース A の車両で運行
向陽(大里経由)・玉城西 SB	大里地区、玉城地区をまわるルート (市役所～大里城址公園前～嶺井団地入口～福原～仲程～稲嶺十字路～湧稲国～船越～玉泉洞前～向陽高校入口～喜良原～系数～前川～湧稲国～船越～玉幼～喜良原～市役所)	●玉城幼、船越小、玉城小、玉城中、向陽高校 ●市外の高校(幹線バス乗り継ぎ) ●市外の通勤(幹線バス乗り継ぎ)	コース C の車両で運行
玉城東回り SB(時計)	玉城地区をまわるルート (市役所～親慶原～つきしろの街入口～百名～中山～富里～堀川～志堅原～奥武～玉城中学前～喜良原～市役所)	●玉城幼、百名小、玉城小、玉城中 ●市外の高校(幹線バス乗り継ぎ) ●市外の通勤(幹線バス乗り継ぎ)	コース D の車両で運行
玉幼帰り	玉城地区をまわるルート (市役所～親慶原～玉幼前～系数～船越～湧稲国～前川～堀川～志堅原～富里～中山～百名～つきしろの街入口～市役所)	●玉城幼	コース D の車両で運行
知高大里線	大里地区、玉城地区をまわるルート (市役所～馬天入口～知念高校～嶺井入口～仲程～稲嶺十字路～湧稲国～船越～喜良原～市役所)	●知念高校	コース D の車両で運行

3-2 支線バスの運行ダイヤ

【主な経路】		【時間帯】																		
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20				
コースA 2台	①知念・佐敷一週線（時計回り） 市役所→馬天→佐敷→安座真→志喜屋→ 百名→親慶原→市役所	※① 7:00	※③ 7:58	8:05 8:58	9:20 10:13	10:30 11:23	22	11:45 12:38	13:10 14:03	14:22 15:15	15:35 16:28	27	16:55 17:48	18:15 19:08	19:35 20:28					
	②知念・佐敷一週線（反時計回り） 市役所→親慶原→百名→志喜屋→安座真 →佐敷→馬天→市役所	6:00 6:53	7:05 7:58	8:18 9:11	9:20 10:13	10:30 11:23	11:11	11:35 12:28	12:55 13:48	14:15 15:08	15:35 16:28	52	17:20 18:13	18:40 19:33						
コースB 1台	③ニライ橋カナイ橋・つきしろ線 （反時計回り） 市役所→親慶原→つきしろ→安座真→佐 敷→馬天→市役所	※② 6:22	7:22	8:10	9:05 9:48	10:07 10:50	11:04 11:47	12:15 12:58												
	④ニライ橋カナイ橋・つきしろ線 （時計回り） 市役所→馬天→佐敷→安座真→つきしろ →親慶原→市役所								48	13:46 14:29	15:17 16:00	16:20 17:03	17:57 18:40	18:47 19:30	19:55 20:38					
コースC 2台	⑤玉城・大里一週線（時計回り） 市役所→親慶原→糸数→奥武→船越→稲 嶺→嶺井→大城→市役所	※③ 7:18	7:15	8:13	8:40 9:38	10:00 10:58	42	11:40 12:38	13:00 13:58	52	14:50 15:48	16:10 17:08	1:02	18:10 19:08	19:30 20:28					
	⑥玉城・大里一週線（反時計回り） 市役所→大城→嶺井→稲嶺→船越→奥武 →糸数→親慶原→市役所	6:56	8:13	8:40 9:38	10:00 10:58	11:00 11:58	42	11:40 12:38	13:00 13:58	14:20 15:18	22	15:40 16:38	17:30 18:28	22	18:50 19:48					
コースD-① 1台	⑦通勤・通学線（玉城東） 玉城東コース（行き帰り）	6:23 6:53	7:17 7:47	7:51 8:21																
コースD-②	⑦通勤・通学線（玉城・向陽高校経由） 玉城、向陽高校ルート（帰り） 知念高校大里回り（帰り）																			
										※⑤ 13:54 14:39	15:23 16:00	16:23 17:00	17:58 18:35	18:43 19:20	19:51 20:35	※⑥				

※①つきしろ SB、知念・佐敷一周線(時計)として運行
 ※②知念西回り線として運行
 ※③玉城西回り SB として運行
 ※④向陽(大里経由)・玉城西 SB として運行
 ※⑤玉幼帰り線として運行
 ※⑥知高大里線として運行

図 3-1.支線バスの運行ダイヤ

3-3 支線バスの運行ルート

承認事項



図 3-2.支線バスの運行ルート

第4章 幹線バスの見直し

4-1 見直しの概要

- 既存の路線バスを幹線バスと位置づけ、中核地と市外の間は幹線バスが、市内各地から中核地までは支線バスが担う交通体系の再編に向け、幹線バス（路線バス）の見直しを行います。
- 本計画では、2019年10月からの再編実施と、計画最終年度の2023年度までに行う再編の概要について整理しています。

(1) 国道331号(佐敷・知念方面)

- 国道331号(佐敷・知念方面)では、2019年度の再編で38番系統を、知念地区从那覇方面への通勤通学を考慮して朝・夜のみ運行とし、日中の新里入口以南の移動は、支線バスで対応します。
- 同様に39番系統の休暇センター～新原ビーチ間、41番系統の休暇センター入口～西つきしろ間は、朝・夜のみ運行とします。

表 4-1. 国道331号(佐敷・知念方面)の見直しの概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019再編	2023再編	備考
37番	那覇新開線	41便	東陽バス	新里～馬天営業所行、新里～市役所行に分岐し、一部を南城市役所発着	南城市役所発着	沖縄バスの39番系統と15～20分に1便の等間隔運行することで調整中
38番	志喜屋線	32便	東陽バス	朝・夜のみ運行	同左	
39番	百名線	28便	沖縄バス	南城市役所発着 休暇センター入口～新原ビーチ間は朝・夜のみ運行	同左	現在の利用状況を踏まえ、親慶原までの運行を検討 東陽バスの37番系統と15～20分に1便の等間隔運行することで調整中
41番	つきしろの街線	10便	沖縄バス	南城市役所発着 休暇センター入口～西つきしろ間は朝・夜のみ運行	同左	事業者にて、他の系統との廃止・統合も検討
191番	城間線	40便	東陽バス	変更なし	新里～馬天営業所間から新里～南城市役所に経路を変更	事業者にて、南城市役所までの乗り入れ可能性を検討 ※91番は平成30年12月22日に廃止し、191番へ統合

(2) 県道 48 号線・86 号線(大里・玉城方面)

- 県道 86 号線では、2019 年度の再編で 109 番系統を 40 番系統と統合し、40 番系統は、大城・親慶原出張所から南城市役所まで延伸します。
- また、県道 48 号線では、53 番系統を 2019 年度の再編で、51 番系統と統合し、2023 年度までの再編で 51 番系統は百名バスターミナルから南城市役所まで延伸します。
- なお、53 番系統については、現在、県の地域公共交通確保維持事業の補助路線であることから、同路線の補助対象としての扱いや、南城市の負担については、今後、県、関係市町村と調整していきます。

表 4-2. 県道 48 号線・86 号線(大里・玉城方面)の見直しの概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 再編	2023 再編	備考
40 番	大里線	43 便	沖縄バス	一部便を大城・親慶原出張所～南城市役所まで延伸	同左	事業者にて、大城交差点(ローソン)で那覇方面に折り返す便も検討
109 番	大里線	6 便	沖縄バス	廃止	廃止	40 番と統合
51 番 (17 便)	百名線	17 便	琉球バス	変更なし	百名バスターミナルから南城市役所まで延伸	地域公共交通確保維持事業の補助路線であることから、関係市町村との調整が必要
53 番 (17 便)	志喜屋線	17 便	琉球バス	51 番と統合 志喜屋～奥武間の廃止		//
54 番 (4 便)	前川線	4 便	琉球バス	変更なし	変更なし	

(3) 国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)

- 国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)では、2019 年度の再編で 83 番系統を玉泉洞前～南城市役所まで延伸します。
- 市外の区間にはなりますが、八重瀬町の具志頭地区では、83 番系統の運行ルートが一部ショートカットになります。
- 50 番系統は、2023 年度までの再編で、百名バスターミナル～南城市役所まで延伸します。

表 4-3.国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)の見直しの概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 再編	2023 再編	備考
50 番	百名線	51 便	琉球バス	変更なし	百名バスターミナルから南城市役所まで延伸	
81 番	西崎向陽高校線	4 便	琉球バス	変更なし	変更なし	
82 番	玉泉洞糸満線	24 便	琉球バス	変更なし	変更なし	
83 番	玉泉洞線	16 便	琉球バス	新城～向陽高校前～玉泉洞前間を新城～玉泉洞前間の経路に変更。(ただし、朝は向陽高校経由で運行)。また、玉泉洞前～糸数入口～南城市役所まで延伸	同左	事業者にて市外区間での見直しも検討

(4) 県道 77 号線(大里方面)

- 県道 77 号線(大里方面)では、2019 年度の再編で 36 番系統を南城市役所発着に変更します。

表 4-4.国道 331 号・県道 17 号線(玉城方面)の見直しの概要

系統番号	系統名	平日便数	事業者	2019 再編	2023 再編	備考
36 番	糸満～新里線	8 便	沖縄バス	南城市役所発着	同左	現在の利用状況を踏まえ、親慶原までの運行を検討 事業者にて、八重瀬町内で那覇向けにルート変更を検討(関係市町と要調整)

第5章 デマンド交通の見直し

- 支線バス及び幹線バスで、市外の向陽高校への登下校は対応するため、デマンド交通（おでかけなんじい）での向陽高校への運行は廃止します。
- これまでの利用実績を踏まえ、2019年12月から車両を10人乗りから5人乗りに変更します。
- 増減便の見直し基準にしたがい土曜日16時台の運行台数を3台から2台に減便します。

表 4-5 2019.10～2020.9 の「おでかけなんじい」の運行計画(案)

項目	内容	
名称	おでかけなんじい	
デマンドバスの運行範囲	久高島を除く南城市全域 及び沖縄県立向陽高等学校（八重瀬町字港川150番地）	
利用対象	南城市を訪れる観光客及び南城市民（年齢制限なし）	
利用運賃	一人一律、1回 300 500円（未就学児は無料） ただし、75歳以上の市民は200円 12枚綴り3,000円の回数券を発行	
運行形態	ドア to ドア方式の区域運行（フルデマンド）	
運行曜日	平日・休日(土日祝)の毎日 ※12/31～1/3は除く	
運行時間帯	現行（2018.10～2019.9）	2019.10～2020.9
	<ul style="list-style-type: none"> ●8～20時(8時台～19時台の1時間ごとに運行) ●平日9時台～18時台、土曜日の11～16時台は3台/時運行 ●その他の時間帯は2台/時運行 	<ul style="list-style-type: none"> ●左に同じ ※土曜日の16時台は2台/時運行に減便する可能性あり。
運行車両台数	最大3台(10人乗り車両、 2019.12.1より5人乗り車両)	
利用方法	観光客は登録不要。南城市民は登録制で、利用したい便の30分前までに電話にて予約。ただし、8時台は前日までの予約が必要。	
運営体制	運行業務及びオペレート業務は、地方自治法に基づく随意契約で選定。	

表 4-6 2019.10～2020.9 の「おでかけなんじい」の運行台数

曜日	時期	時間帯											
		8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時
平日	現行	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
	2019.10～	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//
土曜日	現行	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2
	2019.10～	//	//	//	//	//	//	//	//	2	//	//	//
日祝日	現行	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	2019.10～	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//	//

第6章 運賃体系の見直し

- 支線バスの運賃は、市内一律とします。
- 登下校を支援するため、中・高校生は、大人運賃ではなく小人運賃を適用します。
- 支線バス導入により、これまで知念地区や玉城地区から直通で那覇市等の市外に外出できていた方は、市役所までの乗り継ぎが必要となることから、乗り継ぎの負担軽減を図るため、市民向けには回数券を発行します。（※導入時は利用促進を図るため枚数、期間限定で表 6-2 に示した割引率が高い回数券を販売）
- 支線バスの利便性とのバランスをとるため、「おでかけなんじい」の運賃値上げを行います。ただし 75 歳以上の高齢者については、これまで通り、積極的な外出を促すため、200 円と現在よりも 100 円安い運賃を適用します。

表 6-1.運賃体系の見直し概要

種別	区分	現行	2019 再編
支線バス	運賃	—	一律 300 円（小人 150 円）
	運賃区分	—	大人・小中高校生・未就学児
	回数券	—	あり（47%引き）
おでかけなんじい	運賃	一律 300 円	一律 500 円
	運賃区分	一般・未就学児	一般・未就学・75 歳以上
	回数券	あり（17%引き）	なし

表 6-2.支線バスの運賃

種別	区分	通常料金	回数券 1 枚当たりの販売額
市民	大人	300 円	160 円
	小中高校生	150 円	80 円
	未就学児	無料	無料
観光客	大人	300 円	—
	小人	150 円	—
	未就学児	無料	—

※回数券は、支線バス導入時の利用促進を目的としてしているため、枚数と期間を限定

表 6-3.おでかけなんじいの運賃

種別	区分	現在		再編後	
		通常料金	回数券	通常料金	回数券
市民	大人	300円	250円	500円	—
	小中高校生	300円	250円	500円	—
	未就学児	無料	無料	無料	—
	75歳以上	300円	250円	200円	—
観光客	大人	300円	250円	500円	—
	小人	300円	250円	500円	—
	未就学児	無料	無料	無料	—

～ 参考 幹線バスの運賃見直し案 ～

市内の移動費用のバランスをとるため、幹線バスについて市内上限運賃の導入を検討します。(交通事業者と調整中)

表 6-4.幹線バスの運賃見直し案

種別	区分	現行	2019再編
幹線バス (路線バス)	運賃	対距離運賃	市内上限運賃(調整中)
	運賃区分	大人、小人、未就学児	大人、小人、未就学児
	回数券	なし	なし

第7章 2019年度再編の事業計画

表 7-1.幹線バスの見直しによる変化(1/2)

系統番号	路線名/会社名	区分	路線長※	便数			車両台数			運転手			事業費	備考
				平日	土曜日	日祝日	平日	土曜日	日祝日	平日	土曜日	日祝日		
37 番系統	那覇新開線/東陽バス	現行	3.0km	20	19.5	19.5	15	11	11	30	22	22		車両台数、運転手は37、38番系統で一括計上。一部30番系統でも運用
		2019再編	3.3km	24	18	18	10	7	7	20	14	14		
		増減	0.3km	+4	▲1.5	▲1.5	▲5	▲4	▲4	▲10	▲8	▲8		
38 番系統	志喜屋線/東陽バス	現行	15.7km	16	12.5	12.5								
		2019再編	15.7km	8	6	6								
		増減	0.0km	▲8	▲6.5	▲6.5								
39 番系統	百名線/沖縄バス	現行	7.8km	23	18	18	7	5	5	14	10	10		車両台数、運転手は39、41番系統で一括計上
		2019再編	3.3km	22	16	16	4	3	3	8	6	6		
		増減	▲4.5km	▲1	▲2	▲2	▲3	▲2	▲2	▲6	▲4	▲4		
41 番系統	つきしろの街線/沖縄バス	現行	7.4km	5	4	4								
		2019再編	3.3km	0	0	0								
		増減	▲4.1km	▲5	▲2	▲2								
40 番系統	大里線/沖縄バス	現行	4.8km	21	17	17	4	3	3	8	6	6		車両台数、運転手は40、109番系統で一括計上
		2019再編	4.8km	22	16	16	4	3	3	8	6	6		
		増減	0.0km	+1	▲1	▲1	0	0	0	0	0	0		
109 番系統	大里線/沖縄バス	現行	6.5km	3	1	1								
		2019再編	0.0km	0	0	0								
		増減	▲6.5km	▲3	▲1	▲1								
51 番系統	百名線/琉球バス交通	現行	8.1km	17	9	9	16	14	14	21	17	17		車両台数、運転手は51、53、83番系統で一括計上
		2019再編	12.4km	30	15	15	16	14	14	21	17	17		
		増減	4.3km	+13	+6	+6	0	0	0	0	0	0		
53 番系統	志喜屋線/琉球バス交通	現行	15.8km	17	12	12								
		2019再編	0.0km	0	0	0								
		増減	▲15.8km	▲17	▲12	▲12								
83 番系統	玉泉洞線/琉球バス交通	現行	0.1km	16	22	22								
		2019再編	6.6km	20	25	25								
		増減	6.5km	+4	+3	+3								
36 番系統	糸満～新里線/沖縄バス	現行	9.2km	4	3	3	3	2	2	3	2	2		他系統とあわせて運用。起点を糸満から那覇に変更
		2019再編	8.2km	4	3	3	3	2	2	3	2	2		
		増減	▲1.0km	0	0	0								

※路線長は、主系統の市内区間のみの延長

表 7-2.幹線バスの見直しによる変化(2/2)

系統番号	路線名	区分	路線長	便数			車両台数			運転手			事業費	備考
				平日	土曜日	日祝日	平日	土曜日	日祝日	平日	土曜日	日祝日		
計	琉球バス交通	現行		50	43	43	16	14	14	21	17	17		
		2019再編		50	40	40	16	14	14	21	17	17		
		増減		0	▲3	▲3	0	0	0	0	0	0		
	沖縄バス	現行		56	43	43	14	10	10	25	18	18		
		2019再編		48	35	35	11	8	8	19	14	14		
		増減		▲8	▲8	▲8	▲3	▲2	▲2	▲6	▲4	▲4		
	東陽バス	現行		36	32	32	15	11	11	30	22	22		
		2019再編		32	24	24	10	7	7	20	14	14		
		増減		▲4	▲8	▲8	▲5	▲4	▲4	▲10	▲8	▲8		
	計	現行		142	118	118	45	35	35	76	57	57		
		2019再編		130	99	99	37	29	29	60	45	45		
		増減		▲12	▲19	▲19	▲8	▲6	▲6	▲16	▲12	▲12		

今後、検討

- ・再編事業の路線の概要
- ・再編事業による変化
- ・再編時の収入見込み
- ・再編事業による収支の見込み

第8章 再編事業の評価

以下の項目について再編事業の評価を行う。

- ・ 既存の路線バスの運転手数、運行車両台数の削減効果
- ・ 既存の路線バスの事業費の削減効果
- ・ 支線バスの導入による市内、市外へのバス利用者数の増加。

今後、検討